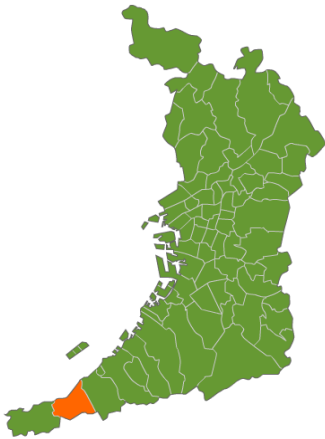


# 大阪府阪南市

## 地方創生にかかる地場産物商品に関する調査・研究、デザイン考案等



### 【地域の基礎データ】

人 口：54,469 人（平成 31 年 1 月末現在）

面 積：36.17 平方キロメートル

高齢化率：28.7%（平成 27 年 1 月 1 日現在）

産 業：紡績業、漁業 など

観光資源：山中溪、鳥取池緑地、せんなん里海公園 など

### 【活動の基本情報】

参加学生数：14 名（1 回生：10 名、2 回生：4 名）

活動期間：平成 30 年 6 月～

担当教員：佐々木壮太郎

### 1. 活動実施の経緯

阪南市が推進する「めっさ旨い！阪南うまいもんプロジェクト」および「次世代へつなげ、夢の懸け橋プロジェクト」との連携により、地場産物を用いた新商品・パッケージデザイン・PR 手法の提案を目指したプログラムである。

### 2. 活動の内容

#### ①阪南市の特産品・地場産品についての現状把握

現在、阪南市において特産品や地場産品として認識されているのは、泉ダコ、なす、黒毛和牛（なにわ黒牛）、地酒、海産物、野菜、おかき、クッキー等である。これらの生産事業者を訪問し、実際に商品や生産現場に接することでその内容を深く知り、また事業者との意見交換等を実施する予定を設けていた。しかし、度重なる台風の接近により現地訪問の予定はすべてキャンセルとなった。その代替として、阪南市役所に提供していただいた実際の商品および各種パンフレットによって、阪南市が保有するシーズについての現状把握を行なった。

#### ②商品アイデアの創出

学生が各自で商品アイデアを持ち寄り、合計 100 個を目標として商品アイデアの創出に取り組んだ。生みだされたアイデアは学生同士の議論および阪南市役所との意見交換により、50、30 と絞り込まれ、最終的に 10 個の商品案までたどり着いた。

### ③イベント参加およびアンケートの実施

はんなん産業フェア（11月4日：阪南市役所周辺）および星空スタンド（11月17・18日：なんばカーニバルモール）に参加し、商品提案およびプロジェクトに関するアンケート調査を実施した。はんなん産業フェアでは110名、星空スタンドでは34名（こちらはプロジェクトの都合から調査対象者を外国人に限定）から回答を得た。

### ④プロジェクトのウェブサイト作成協力

めっさ旨い！阪南うまいもんプロジェクトで取りあげた飲食店を訪問し、クチコミ情報となる食レポを実施した。これらはプロジェクトのウェブサイトに掲載されている。

### ⑤新商品提案のプレゼンテーション

最終発表会として、阪南市商工会において特産品・地場産品の事業者を含む商工会会員に向けた新商品提案のプレゼンテーションを実施した。アンケート等をとおしてブラッシュアップされた9つの商品案についてイラスト等を交えて説明し、出席者からの率直な意見・感想を伺った。厳しい意見や励ましとともに商品化のヒントを得られたという感想もあり、学生にとっては貴重な機会となった。

## 3. 活動を通じて

2018年夏は数多くの台風が関西地方を通過し、多くの被害をもたらした。阪南市もその例外ではなく、LIPの活動に対し、大きな制約をもたらすことになった。本来であれば、事業者との関係を構築した上での商品提案を行なえるはずであったが、現実には、最終発表会でぶっつけ本番のような形で事業者と向きあうことになってしまった。ただこれも、現場では常に起こりうる事態ではあり、学生にとってもひとつの重要な経験となったことであろう。また、イベントでのアンケート実施にあたっては、阪南市役所の担当者も驚くようなコミュニケーション能力を発揮し、予定を上回る回答者数を獲得するなど、学生が持つポテンシャルを発揮できる機会となったようである。

## 4. 成果物など

「めっさ旨い！阪南うまいもんプロジェクト」ウェブページ(<http://hannan-umaimon.jp/>)

